

公開承認施設

認定記念展シンポジウム

出演パネリスト



地主智彦氏

(文化庁美術学芸課文化財調査官)



榎木郁朗氏

(宮崎県総合博物館学芸課長)



藤井良昭氏

(修理工房 宰匠代表取締役)



司会 植野かおり氏

(公益財団法人立花家史料館館長)

白糸裾明透緋威鎧 烏津斉彬着用
(東京富士美術館蔵)



地域博物館の未来

都城島津邸の博物館活動を考える

SHIMAZU MIYAKONOJO

平成29年2月4日(土)
14:00~16:00

ウエルネス交流プラザ ムジカホール

入場無料



都城島津邸
Miyakonojo Shimazu Residence

〒885-0055 都城市早鈴町 18 街区5号
TEL 0986-23-2116 FAX 0986-36-4019



詳しくは
QRコードで
チェック!!

地域博物館の未来 ~都城島津邸の博物館活動を考える~

公開承認施設 認定記念展シンポジウム

都城島津家より都城市へ同家史料及び邸宅が譲渡されたことにより、都城市は建造物・古文書等・御道具類を三位一体で保存・公開し、かつ観光の拠点ともなる都城島津邸を整備し、平成22年に開館しました。以後当館は、地域の方々に対して、同家史料や国宝・重要文化財等の貴重な史料を用いて地域の歴史を紹介してきました。

そして、平成27年8月27日、文化庁から「公開承認施設」の認定を受けました。この認定は県内初、全国で144番目(現在は114件)、南九州でも2件目であり、県内外から注目を浴びました。この「公開承認施設」としての役割は大きいものがあり、地域の歴史学習に資するため、重要な資料を保存・展示公開するだけでなく、南九州を範囲とした文化財保存・公開及び学芸技術の普及についても地域貢献することが求められています。

本シンポジウムでは、「公開承認施設」認定を受けて、地域に残る文化財の大事さをどのように訴え、そして当館は「公開承認施設」として今後どのように活動していくべきなのか、専門家の意見をふまえて、参加者全体で考えていきます。

公開承認施設認定記念展

島津の至宝

~文化財と地域博物館の魅力~

I 文化財とは



都城市指定文化財・貝藻蒔絵鞍
(都城島津邸蔵)

江戸期における都城島津家の史料保存と活用



国重要文化財 紺糸威紫白肩裾胴丸 大袖付 (都城島津邸蔵)



狩野常信画 四季山水図屏風 (東京富士美術館蔵)

近現代における都城島津家の史料保存と活用



明治における都城島津家日誌
(都城島津邸蔵)

文化財と地域博物館の魅力



五世市川海老蔵の碓井荒太郎貞光
(足立区立郷土博物館蔵)



国宝 島津家文書 (慶長5年)卯月11日付島津義弘書状
(東京大学史料編纂所蔵)

■開館時間

9:00 から 17:00 まで
(入館は 16:30 まで)

■休館日

月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

平成29年

1.21 土 3.5 日

MIYAKONOJO

■観覧料

大人400円(350円)
大学生・高校生300円(250円)
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※本宅別途100円

〒885-0055 都城市早鈴町18街区5号 TEL 0986-23-2116 FAX 0986-36-4019 <http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/shimazu/>



都城島津邸
Miyakonojo Shimazu Residence